

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 8 例(感染地域:神奈川県 2 例、ベトナム 3 例、フィリピン 1 例、インド 1 例、ミャンマー 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 49 例(うち有症者 10 例、HUS 1 例)[感染地域:すべて国内 国内の多い感染地:熊本県 37 例*、静岡県 4 例。*第 48、49 週の 13 例を含め、同一幼稚園に関連した集団発生 年齢群:10 歳未満(29 例)、10 代(3 例)、20 代(3 例)、30 代(10 例)、40 代(2 例)、50 代(1 例)、60 代(1 例) 血清型・毒素型:O26 VT1(37 例)、O157 VT1・VT2(4 例)、O157 VT2(4 例)、O111 VT1(1 例)、O119 VT1(1 例)、その他/不明(2 例)]
- 4 類感染症: E 型肝炎 3 例(感染地域:埼玉県 1 例(感染源:レバ刺し、馬刺し)、新潟県 1 例(感染源:不明)、三重県 1 例(感染源:不明))、A 型肝炎 1 例(感染地域:兵庫県)、つつが虫病 14 例(感染地域:鹿児島県 3 例、福島県 2 例、宮崎県 2 例、青森県 1 例、群馬県 1 例、千葉県 1 例、静岡県 1 例、愛知県 1 例、愛媛県 1 例、佐賀県 1 例)、デング熱 1 例(感染地域:インド)、マラリア 2 例[三日熱 1 例(感染地域:ミャンマー)、熱帯熱 1 例(感染地域:スーダン)]、レジオネラ症 4 例(すべて肺炎型)[年齢群:60 代 2 例、70 代 2 例 感染地域:栃木県 1 例、新潟県 1 例、兵庫県 1 例、福岡県 1 例]、レプトスピラ症 1 例(感染地域:宮城県、感染原因:釣り関連)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 12 例(腸管アメーバ症 9 例、腸管外アメーバ症 3 例)[感染地域:国内 10 例、中国 1 例、台湾 1 例 感染経路:経口 2 例、性的接触 3 例(異性間 1 例、同性間 1 例、異性間・同性間不明 1 例)、経口/性的接触(異性間)2 例、不明 5 例]、ウイルス性肝炎 1 例(B 型 感染経路:性的接触(異性間))、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例(孤発性プリオン病古典型)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例(血清群:G 群、50 代)、後天性免疫不全症候群 13 例(無症候 11 例、その他 2 例)[感染地域:国内 12 例、国内/アンゴラ 1 例 感染経路:すべて性的接触(異性間 5 例、同性間 8 例)]、梅毒 7 例(早期顕症 I 期 1 例、早期顕症 II 期 3 例、無症候 2 例、先天梅毒 1 例)、破傷風 1 例(80 代)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 43 週以降、増加が続いている。都道府県別では宮崎県(4.28)、大分県(1.91)、岐阜県(1.45)、沖縄県(0.97)が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 2,545 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 72%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 42 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では山形県(2.0)、北海道(1.9)、富山県(1.8)、長崎県(1.5)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 42 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では北海道(5.1)、鳥取県(4.8)、新潟県(4.6)、山口県(4.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 39 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では福井県(43.3)、愛媛県(36.1)、宮城県(33.7)、埼玉県(33.3)、長野県(31.7)、福島県(31.6)が多い。水痘の定点当たり報告数は第 43 週より増加が続いている。都道府県別では島根県(5.0)、宮城県(4.5)、福井県(4.1)、大分県(3.9)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(3.2)、大分県(2.9)、島根県(1.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第 47 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では富山県(1.14)、宮城県(0.87)、岩手県(0.85)、秋田県(0.77)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では栃木県(0.15)、京都府(0.04)、広島県(0.03)、沖縄県(0.03)が多い。風しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県から各 1 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岩手県(0.21)、宮城県(0.15)、徳島県(0.14)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では、埼玉県、東京都から各 2 例、新潟県、愛知県、兵庫県から各 1 例の報告であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では新潟県(2.8)、青森県(2.5)、岩手県(2.4)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県(3.9)、大阪府(1.9)、群馬県(1.8)、埼玉県(1.7)が多い。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県	.3	.1	3.1	36.1	2.4	.4	.3	1.1					1.1	.1	2.5			1.3				
近畿	香川県	2.2	.2	.9	15.8	2.1	.2	.8					.8		1.0							
	徳島県	.8	.3	1.2	18.8	1.4	.4	.3	.4			.1		.9	1.3							
	高知県	.0	.1	2.9	27.4	1.6	.2	.1	.3					1.0			.1					
全国	.2	.8	6	22.8	2.4	5	.4	.6	.6	.0	.0	.0	.9	.0	.7	.0	.0	.6	.0			
北海道	.0	1.4	1.8	5.1	13.0	3.2	.5	.6	.5				1.1		.7							
東北	.0	.7	.9	2.2	25.6	2.9	.9	.6	.6	.0	.1		1.5	.1	.7	.0		1.0	.0			
関東	.1	.8	.4	2.4	28.3	2.3	.4	.4	.6	.0	.0	.0	.6	.0	.9	.0	.0	.8	.0			
甲信越北陸	.1	.3	1.0	3.0	28.2	2.4	.4	.5	.6				1.4	.0	.6		.1	.7	.1			
東海	.4	.6	.5	2.2	18.6	2.1	.3	.5	.6	.0	.0	.0	.8		.3		.0	.5				
近畿	.1	.8	.3	1.9	20.4	2.2	.4	.4	.5	.0	.0	.0	.9	.0	.4	.0	.0	.7				
中国四国	.2	1.3	.4	2.4	21.8	2.2	.3	.3	.6	.0	.0	.0	.8	.0	1.0	.0	.0	.5	.0			
九州沖縄	.7	1.1	.5	2.2	18.1	2.9	.8	.2	.8	.0	.0	.0	1.1	.1	.8		.0	.5				

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(12月21日集計)

全国 全数把握感染症 第50週 (2006.12.11 ~ 12.17)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																							
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス	(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症				
第50週報告数	全 国		8			49	3		1						14	1					2				4	1	12	1			1	1	13					7	1					
	四 国	愛 媛 県														1												1																
		香 川 県																																										
		徳 島 県																																										
		高 知 県																																										
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																										1												1				
		東 北 関 東														3										1	1	5												1				
		甲 信 越 北 陸																									1																	
		東 海 近 畿		4			1	1								2							1				1	1	1												4			
		中 国 四 国																									1	2																
九 州 沖 縄																6										1														1	1			
週 推 移	全 国		8			49	3		1						14	1					2				4	1	12	1			1	1	13						7	1				
	50週		8			49	3		1						14	1					2				4	1	12	1			1	1	13						7	1				
	49週		3	2	1	39					1				20										7		8						2	3	10				10	2		1		
	48週		12	1	1	32	1		2						17						1				11		6	3	1	1								3	1		4			
47週		2	1		38			1				1		18		1				1			1	11		7	2			2	1	12					4			1				
2006年累積数	全 国	46	469	70	24	3824	68		310	20	22	2	2	2	354	54	44	7	5		2	60		12	488	24	710	268	157	14	166	104	1257	82	14		598	113		74				
	四 国	愛 媛 県		6	2		16			4						2										2	5	4	1	1	3			7				4	2					
		香 川 県					20			1		3	2													3	4			1			1	4					12					
		徳 島 県					49			1								1									5				1								4	1				
		高 知 県		2	1		3			4						5		3	1				2				2	2	4	1				3				28	1					
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		2	3		81	19		13	19					1									3	20		25	4	8	3	7	7	27	1				9	6		3		
		東 北 関 東	2	18			370	2		10		3				137						1	4			30	1	26	20	7		6	4	35		2		40	3		5			
		甲 信 越 北 陸	7	36	3	2	300	7		24		1				49	3					2			5	2	74	2	16	21	13	1	22	5	52	3	1		25	7		5		
		東 海 近 畿	5	39	9	3	452	6		38	1	2				30	7	1				4			2	76		81	31	18		19	15	158	4	1		70	8		11			
		中 国 四 国	4	16	3		412	3		41		3	2			27	1	16	2								36		35	28	19	1	19	7	42	4			69	15		4		
九 州 沖 縄		4	41	4		761	6		27						59	5	18	5							1	35	15	34	26	18		19	4	60	7	3		122	32		5			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.12.21集計)